

令和4年度  
事業報告書

社会福祉法人 札幌厚生会  
救護施設 札幌市あけぼの荘

# 令和4年度事業報告書 目次

総括	1
I. 利用者支援の充実	3
1. 自己実現と個別支援体制の充実	
2. 人権を尊重した支援の推進	
3. 包括的基幹相談窓口の体制構築と循環型施設機能の推進、生活困窮者自立支援機能の推進	
4. 利用者主体の生活支援	
5. 生きがい活動の充実	
6. 作業活動の充実	
7. 地域活動の推進	
8. ホームレス緊急入所事業の推進	
9. 一時入所受入れの推進	
II. 健康支援と感染予防	8
1. 健康状態の把握と健康相談の充実	
2. 健康診断の実施	
3. 回診の実施	
4. 服薬の管理と誤薬防止	
5. 怪我（転倒）の防止と誤嚥予防	
6. 感染症の予防	
7. 病院受診・通院・入退院の対応	
8. 緊急時の対応	
別紙 月別通院状況	
III. 食の向上と栄養管理	11
1. 栄養の管理	
2. 特別食の対応	
3. 豊かな食事の提供と給食環境の改善	
4. 非常時の対応	
5. 食品衛生と調理従事者の衛生管理の徹底	
6. 給食単価と平均栄養所要量	
別紙 給食状況調	
IV. 施設の安定的な経営と機能強化	15
1. 安定的経営に向けた取り組み	
2. 運営体制の適正化	
3. 職員の専門性の向上	
4. 苦情解決に向けた取り組み	
5. 地域との連携	
6. 広報活動の充実と情報公開の取り組み	
V. 施設の安全管理と環境整備	17
1. 施設の防災管理	
2. 施設設備の修繕・保守・点検	
3. 施設内の清掃・美化	
別表	18
別表1 入所状況・ 別表2 職員配置状況	

# 令和4年度事業報告

## ■総括

### はじめに

令和4年度は、札幌市あけぼの荘の開設60周年の節目の年であった。コロナ禍の継続による先行きが不透明ななか、節目を祝う大きな催し物は開催出来なかったが、新たな1年を地道に重ねた。この1年を振り返るにあたり避けて通れないのが、当施設においても発生したコロナクラスターである。これまで、感染予防と出来るだけ制限の少ない日常生活とのバランスを考慮したうえで対策を講じてきたが、9月中旬に最初の感染が確認され、以後強い感染力をもって瞬く間に施設内に広がった。約1か月の間、保健所の指示のもと職員一丸となってその対応にあたったものの、約6割の方々が罹患する集団感染となった。幸いにして重症に至った方はおらず、収束宣言後も一定の平穏を保っている。このたびの集団感染を大切な教訓とさせていただき、今後の感染対策や有事の際の対応に役立てていきたい。

こうした状況のなか、新たな指定管理期間の更新に向けて様々な準備を進めてきた。数年にわたり、居室環境改善に向け札幌市と交渉を続けてきた結果、定員の縮小により一人あたりの床面積を拡大することと、より過ごしやすい環境に改善していくための修繕工事を行う道筋をつけた。また、定員変更に伴い職員定数も縮小し、より効率的な支援体制の構築が求められることから、職員配置等の見直しも行った。

新規入所者獲得のための周知活動は、コロナ禍においては、双方の感染状況等により、思うように実施出来なかった。ここ数年低下の一途であった在籍人員は、今年度は若干上向きとなったものの、引き続き厳しい財政状況に変わりはないことから、次年度以降も周知活動を続け、安定的な入所者獲得に努めていく。

日常生活の支援においては、昨年度に引き続き、施設内におけるサービス内容や日常生活のルールの見直しを行ってきた。再び地域生活に結びつけていくための「居宅生活訓練事業」も順調に推移しており、対象者の地域移行に向けた支援に取り組むことが出来た。

## ■重点目標

### 1. 新指定管理期間期間更新に向けての準備

新たな指定管理期間を迎えるあたり、利用者定員の変更と居室環境改善に向けた働きかけを札幌市に対し行ってきた。その結果、次年度からの定員が75名へと変更となり、居室環境改善に向けた修繕工事を行う見通しとなった。また、それに合わせ、日常生活支援を担当する支援員の配置見直しを行った。

## **2. 利用者確保に向けた取組**

ここ数年減少し続けていた一年間の在籍人員は、今年度においては歯止めがかかった状況であった。相談件数もわずかながら増加傾向にあるが、当初目標としていた81名には若干及ばなかった。利用者確保に向けた周知活動は、コロナ禍の影響により思うように進めることが出来なかったため、次年度以降も取り組んでいく。

## **3. 利用者支援のあり方見直し**

現在の施設サービスが、昨今の利用者ニーズに合致しているものかどうかを検証してきた。利用者本人がもつエンパワメントの視点を大切に、「支援しすぎない支援」を意識しながら、「人権擁護委員会」を軸に日々の支援の見直しを行った。今年度については、入浴時間の設定をフリーとし、利用者様の自主性を促し選択肢の幅を広げるものとした。次年度もこうした議論を継続していく。

地域生活移行に向けた「居宅生活訓練事業」を再開し、2名の方が訓練を行い、うち1名の方を地域移行に結びつけることが出来た。

## **4. 感染症対策の向上**

これまでと同様に、新型コロナをはじめ、インフルエンザやノロウイルス等の施設内感染症対策に努めてきた。しかしながら、今年度はコロナウイルスの集団感染となった。収束後に既存の感染対策マニュアルを見直し、冬季のインフルエンザやコロナの再発防止に努めた。

## **5. 安全で満足度の高い給食の提供**

健康で生きがいある毎日を送っていただくため、日々、安全で満足度の高い食事の提供を行っているところであるが、今年度は食事摂取基準を最新版に更新したうえで献立作成を行った。

## **6. 各種マニュアルの整備とBCPの策定**

このたびのクラスターを教訓とし、更なる感染症拡大を最小限度にしていくための、簡易的マニュアルを作成した。出来るだけ簡素化し職員誰もが一目で理解できるものとした。一方、策定が求められているBCPについては、議論するにとどまり、完成までは至らず来年度へと持ち越した。

## I. 利用者支援の充実

生活支援において、個人を尊重し、自己決定と持てる能力の活用を基本とした、個別支援計画に基づき支援を実践した。

### 1. 自己実現と個別支援体制の充実

#### ① 個別支援計画実施体制の充実

##### ケース会議の開催

- ・担当支援員による支援計画の進行状況の報告を受け、各関係部署より客観的な視点から疑問点や支援に対してのアドバイスを行い、利用者様の現状にあった計画に修正を行いながら支援に努めてきた。報告の中で概ね達成されている計画に対してもこれまで継続しながら見守ってきたが、目標達成したことを利用者様に説明することで、達成感から次に向けての自信に繋がると思い、積極的に支援計画の見直しを行うことができた。

延べ開催回数 69回

### 2. 人権を尊重した支援の推進

#### ① 人権擁護委員会の開催

- ・定期的な実施に至らなかったが、一般入浴の方には自主的に入浴してもらうよう概ね時間を決めフリーで入浴してもらうように見直しを行った。さらにゆとりをもって入浴できるよう継続して時間の検討を行っていく。シャワー浴に関しては、常時入浴できる環境に見直しを行った。
- ・利用者様に対する支援の在り方については、支援し過ぎず利用者様の能力延ばし、一人ひとりがさらに自立した生活となるよう、継続して施設内の規則も見直しに行く。

委員会開催 3回

### 3. 包括的基幹相談窓口の体制構築と循環型施設機能の推進、生活困窮者自立支援機能の推進

#### ① 札幌市を対象とした「基幹相談窓口」としての機能

- ・当施設を窓口とすることに関しては、目に見えた成果を感じる事ができなかったが、市内各区からの依頼に対し、迅速な対応で断らない受け入れが出来た。しかし法人内救護施設と連携した、受け入れ態勢の調整についてはツールの準備が整わず課題が残るものとなった。ツールの作成を急ぎ連携した受け入れ態勢を整えていく。

#### ② 施設と地域社会資源との連携強化

- ・今年度も新型コロナウイルス感染症により、定期的な訪問活動については実施に至らなかった。新規入所の面談の際には関係機関への訪問し、連携を図った。

#### ③ 生活困窮者自立支援事業の実施（地域公益的事業）

- ・認定就労訓練事業（中間的就労）としては保護自立支援課の依頼により、就労に向けての必要な訓練を行う事業であるが、今年度も対象者がいなかったことで実施に至らなかった。

### 4. 利用者主体の生活支援

#### ① 支援体制の改善

- ・福祉見聞録導入による情報管理体制の充実
- ・自立された方に対し、常に入浴（シャワー浴）ができるように環境を整備した。

#### ② 意見反映

- ア. 意見交換会（隔月実施）
- イ. 全体集会

10月、1月、3月のみ通常通り、集会室にて実施した。

#### ③ 自主的活動の促進

- ・各種体操への参加（毎日実施～ラジオ体操、リズム体操）

- ・カラオケ愛好会活動への支援（新型コロナウイルス感染対策により中止）
- ・職員が同行する個別外出支援

買い物	食事	図書館	家族との交流	墓参り	合計
22回	0回	0回	0回	0回	22回

#### ④ 家族等との交流支援

##### ア. 家族等との交流状況

新型コロナウイルス感染対策により外出・外泊においては、制限させていただいた中で実施した。

##### ・面会の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
面会者数	3	6	5	3	7	7
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
面会者数	4	7	15	9	11	5

\*延べ面会者数 82名

##### ・外出の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外出者数	0	4	0	1	1	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外出者数	0	1	0	0	0	0

\*延べ外出者数 7名

##### ・外泊の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
外泊者数	0	0	0	0	0	0
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
外泊者数	0	0	0	0	0	1

\*延べ外泊者数 1名

##### イ. 機関紙「みちしば」の家族様への送付

- ・発行回数：年2回
- ・送付部数：36部／1回

## 5. 生きがい活動の充実

### ① クラブ活動の実施

今年度も新型コロナウイルス感染対策により、ボランティアの受入れを中止とした。

クラブ名	実施回数	参加延人数	実施内容
書道クラブ	12回	135人	季節や行事に合わせた文字や好きな言葉を書き、日常的に掲示した。また、利用者様全体に呼びかけ七夕の短冊作りを行った。
自遊クラブ	11回	125人	お雛様、五月人形、七夕、クリスマス、正月等、季節の飾り付けの他、ぬり絵、歌と器楽の演奏、DVD放映等を行った。
手芸クラブ	17回	117人	スクラッチアート、七夕の飾り付け等の作品づくりを行った。参加される利用者様が減ってきていることもあり、回数の見直しも行った。

## ② レク活動の実施

### ア. グループレクの実施

実施日	内 容	参加者	実施日	内 容	参加者
5月19日	出前1班	6名	8月24日	ユニクロ	3名
5月26日	羊ヶ丘展望台	1名	9月 8日	出前3班	7名
6月15日	出前2班	4名	11月16日	出前4班	5名
6月22日	100均1班	9名	11月17日	動物園	4名
7月14日	100均2班	11名	11月29日	ドライブ	4名
7月27日	100均3班	6名	11月30日	出前5班	6名

イ. 買物レクの実施（コロナ禍にあっても、利用者ニーズが高かった買い物については、予防・消毒を徹底した上で実施した。

・実施日	1班 4月26日	2班 5月17日	3班 5月24日
	4班 6月 9日	5班 6月16日	6班 6月28日
	7班 7月20日	8班 7月26日	9班 8月18日
	10班 8月31日	11班10月27日	12班11月15日
	13班11月22日		
・行 先	しまむら苗穂店 アペイル苗穂店		
・参加者	1班 4名	2班 4名	3班 5名
	4班 5名	5班 4名	
	6班 5名	7班 5名	8班 5名
	9班 4名	10班 4名	
	11班 5名	12班 5名	13班 2名
			合計 34名

### ウ. その他施設行事

実施日	行事名	内 容	備 考
4月 1日	新担当顔合わせ	新規居室メンバーと担当支援員との顔合わせを行った	
4月中旬	合同カラオケ交流会	新型コロナウイルス感染対策により中止	
5月12日	第60回開設記念	施設内にて利用者様のみで実施した	
8月10日	夏祭り	施設内にて利用者様のみで実施した	
8月中旬	物故者盂蘭盆会法要	新型コロナウイルス感染対策により中止	
9月 7日	スポーツ交流会	新型コロナウイルス感染対策により中止	
9月15日	敬老会	お祝い品を贈呈し、長寿のお祝いを利用者様と共に行った	
12月15日	もちつき	「よかさろん」にて、もちつきを行った	
12月22日	クリスマス会	クリスマス会食を行った	
12月30日	年越し会食	年越しの会食を行った	
1月19日	勉強会	新型コロナウイルスについてDVDで上映した	全員
2月 2日	節分の豆まき	年男、年女の方に施設内を回って頂き、豆まきを行った	対象者 4名

## 6. 作業活動の充実

新型コロナウイルス感染症の発生から、作業依頼が皆無に近い状況となってしまった。

作業依頼が入った時には、人数を分散することで密を避け、換気などの感染対策をしながら作業を行った。

### ① 作業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施延べ日数 (日)	0	0	0	8	7	5	3	11	7	8	7	0	2
参加延べ人員 (人)	0	0	0	234	196	136	75	274	192	222	204	0	47
1日平均参加 人員(人)	0	0	0	29	28	27	25	25	27	28	29	0	24
箸作業実績 (本)	0	0	0	55,000	61,500	50,500	42,500	131,000	55,000	90,000	70,000	110,000	665,500
箸作業収益金 (円)	0	0	0	8,250	9,225	7,575	6,375	19,650	8,250	13,500	10,500	16,500	99,825
その他作業 実績(部)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他作業 収益金(円)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
収益金総額 (円)	0	0	0	8,250	9,225	7,575	6,375	19,650	8,250	13,500	10,500	16,500	99,825

### ② 作業内容

- ・お弁当用箸セット製作作業

### ③ 作業工賃の支給

- ・偶数月に当該月の前2ヶ月分の作業参加回数を集計し、その出席回数と当該月の収益金を基礎とした計算により、作業賃金を個々に支給した。
- ・令和4年度作業収益金総額 99,825円

## 7. 地域活動の推進

いずれも新型コロナウイルス感染症対策により中止した。

- ① 地域清掃の実施
- ② 地域交流の実施

## 8. ホームレス緊急入所事業の推進

国の緊急的施策(一時見守り支援事業)により、施設近隣のアパートを3室借り上げ、経路不明者の隔離対応場所として受け入れを行った。

### ア. 月別入所者数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入所	0	2	0	1	2	3	0	1	2	1	1	1	14

\*平均入所日数 47.4日 最短 4日 最長 158日

### イ. 年齢別入所者数

(内訳)	30歳未満	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	2名	3名	2名	3名	1名	3名
	14.3%	21.4%	14.3%	21.4%	7.1%	21.4%

\*平均年齢 51歳 最年少 20歳 最高齢 88歳



ウ. 月別退所者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
居宅保護	0	0	0	2	1	1	0	2	0	1	3	0	10
入院	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

9. 一時入所受入れの推進

ア. 一時入所利用者数（一般入所前の体験的入所は除く）10名

イ. 退所先 居宅 6名 その他 0名 正式入所 4名

## Ⅱ. 健康支援と感染予防

利用者様一人ひとりの安心と健康の保持、残存機能の維持を図りながら、嘱託医の指示の下、以下のことを行った。新型コロナの影響下の中感染症対策の徹底に努めた。しかしながら、今年度においては、コロナウイルスの感染が広まり、合計で45名の方が罹患する集団感染となった。

### 1. 健康状態の把握と健康相談の充実

日常の小さな変化や悩みのサインを見逃さないよう観察を密に行い、利用者様の主体性や意思を尊重した（健康相談「話楽」）支援に努めた。

#### ① 「話楽」の実施

・希望された利用者様、新規入所の方へ個別に悩みや不安に思うことの聞き取りを行った。

延べ人数12名

#### ② 延命意思確認の実施

・誕生月に年1回、新規入所の方へ延命希望の有無確認を行った。

実施人数6名

また、生活支援記録システムを活用し、医務的記録を職員間で情報共有出来るよう努めた。

### 2. 健康診断の実施

#### ① 定期検診

検診名	実施日	実施機関名	受診者	要精検者
胃 癌 検 診	4月7日	北海道対がん協会	25名	3名
大 腸 癌 検 診	4月7日	北海道対がん協会	62名	1名
胸 部 検 診	4月7日	北海道対がん協会	58名	1名
子 宮 癌 検 診	3月16日	北海道対がん協会	7名	0名
乳 癌 検 診	3月16日	北海道対がん協会	9名	0名

※ 要精検者については、嘱託医の指示により再検査を実施した。

#### ② 施設内健康チェック

ア. 体重・血圧測定の実施

・毎月 男性・女性別に1回測定実施

イ. 検血・検尿の実施（対象者のみ）

・3班に分け年2回実施

#### ③ 入所時健診

必要に応じ適宜実施した。

#### ④ 個別検査

嘱託医、主治医の指示を受け、胸部レントゲン・CT、頭部CT、心電図、胸部・頸部エコー、血液、尿検査を実施した。

### 3. 回診の実施

回診や通院を受診した。月別患者数は別紙のとおり。

### 4. 服薬の管理と誤薬防止

自己管理が難しい方（現在53名）については医務管理とし、食事後や就寝時に支援員と連携し服薬確認を行った。また自己管理が出来る方についても、定期的に残薬のチェックを行い服薬の安全に努めた。誤薬の発生を出来るだけ最小限にとどめるべくヒヤリハット委員会を通じ検証を行った。

## 5. 怪我（転倒）の防止と誤嚥予防

- ア. ラジオ体操、リズム体操、DVDによる機能体操の実施（身体機能・嚥下機能・認知機能）  
イ. 歯科往診時に必要な方へ義歯装着方法や歯磨き方法等について指導した。又、義歯の不都合など支援員と連絡を密にとりながら歯科治療につなげた。  
ウ. 昼食前に対象者向けに嚥下体操を行った。

嚥下体操月別実施回数及び参加者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実施回数	3回	5回	4回	10回	7回	1回
参加者数（延人数）	43名	71名	51名	122名	98名	14名
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実施回数	4回	6回	7回	7回	3回	7回
参加者数（延人数）	80名	78名	94名	72名	30名	82名

合計：64回 835名

- エ. 単身で外出できない方へ屋上を活用し、外気に触れる機会をつくる目的で「SUN歩会」を行った。  
実施回数2回 参加人数延べ6名

## 6. 感染症の予防

- ア. インフルエンザ予防接種の実施  
・利用者様及び職員を対象に実施した。  
イ. 肺炎球菌ワクチンの実施  
・助成対象の利用者様に実施した。  
ウ. 新型コロナ予防接種の実施  
・希望した利用者様を対象に、ワクチン接種券が届いた順に実施した。  
エ. 手洗い・うがいの徹底  
・日常の手洗い、うがいの徹底のほか、通院の帰途後のうがい手洗いを徹底するなど、感染症の予防に努めた。  
オ. 除菌の徹底  
・施設内の除菌（通年1日2回）及び、換気（午前、午後2回）を全職員で実施した。  
カ. コロナウイルス対策の実施  
・全職員のマスク着用、利用者様の外出制限を適宜実施した。  
・発熱者が出た時の対策マニュアルを作成した。  
・コロナ感染時には、保健所の指示及びマニュアルに基づき、職員が統一した行動をとることで、感染拡大を防ぐ対策を行った。

## 7. 病院受診・通院・入退院の対応

- ・単独通院出来ない方や、新型コロナ対策で公共交通機関を使用できない方の通院送迎を行った。（相談員と調整）
- ・通院者の受診に対し新型コロナの対策として通院日の調整、リモート受診を行った。

## 8. 緊急時の対応

- のどづめ、転倒事故による怪我、意識障害などの事態に対し職員全員が初期対応を行えるよう努めた。
- ・「事故発生時の対応」マニュアルを基に新規職員へ説明を行った。
  - ・感染症対策委員会より、「コロナ・インフルエンザによる症状別簡易対応マニュアル」を作成し、職員へ周知し、以降の感染発生時に備えた。

## 月別通院状況

延人員(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
内科	施設外	15	12	16	5	7	8	9	9	6	7	8	4	106
	施設内	22	10	24	22	10	22	23	25	21	20	22	22	243
精神科	施設外	1	5	2	1	2	1	4	2	3	1	1	2	25
	施設内	0	0	19	16	9	0	0	0	0	15	16	13	88
外科	施設外	6	4	2	3	2	1	5	6	0	5	2	4	40
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
皮膚科	施設外	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	施設内	9	10	8	8	9	0	8	8	9	10	10	9	98
歯科	施設外	4	3	4	2	1	2	2	0	1	2	7	6	34
	施設内	15	12	22	14	6	7	14	16	17	11	4	10	148
婦人科	施設外	2	3	1	2	2	0	1	3	1	1	0	0	16
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
整形外科	施設外	3	1	2	4	2	2	1	0	1	0	3	1	20
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
眼科	施設外	2	11	15	2	3	5	6	2	4	1	2	3	56
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
耳鼻咽喉科	施設外	1	1	0	1	2	0	1	1	1	0	2	0	10
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
泌尿器科	施設外	2	0	2	0	3	1	6	1	2	3	2	1	23
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
呼吸器科	施設外	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	3
	施設内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受診者数	施設外	37	41	44	20	26	20	35	24	21	20	27	21	336
	施設内	46	32	73	60	34	29	45	49	47	56	52	54	577
	合計	83	73	117	80	60	49	80	73	68	76	79	75	913

### Ⅲ. 食の向上と栄養管理

健康で生きがいのある生活を送っていただくため、利用者様個々に合った安全で満足度の高い食事の提供に努めた。事摂取基準2020年版を運用した献立作成を行った。

#### 1. 栄養の管理

身体状況・生活状況を把握し、個々の健康・栄養状況に応じた栄養管理の徹底を図った。また、生活習慣病の予防と重度化防止など、健康の維持・向上に努めた。

- ① 献立表の作成
- ② 個別栄養管理

#### 2. 特別食の対応

利用者様個々の疾病等を考慮し、特別食の対応を行った。

・マンナン食 ・エネルギー制限食 ・減塩食 ・アレルギー等による代替食

#### 3. 豊かな食事の提供と給食環境の整備

毎日の食事が最大の楽しみとなるよう、季節を感じる食材や料理を盛り込み、変化に富む献立に努めた。より出来立ての料理を食べていただけるよう適温での提供と、食欲をそそるよう視覚や嗅覚など五感が満たされる豊かな食生活の提供に努めた。

- ① 食事環境の改善
- ② 行事食、選択食、イベント食等の充実

##### ア. 選択食

回数	実施日	選択食の内容
1	4月13日	味噌ラーメン：フィッシュバーガー、ダブルベリーのカレー、フルーツ白玉あんみつ
2	7月12日	冷やしラーメン：ザンギ丼、チョコタルト：ゆずシャーベット
3	11月16日	チーズハンバーグ：シーフードミックスフライ、りんごのカレー：お汁粉
4	2月14日	すき焼き丼：かき揚げ丼、いちごのロールケーキ：ミルクプリン小豆ソース

##### イ. バイキング食

・料理は簡易食器に小分けに盛り付けし、予めお膳にセットした状態で配膳した。おかわりについては、利用者様は着席したままで、職員がオーダー分の料理を座席まで運んだ。

・実施日 3月8日

・献立 白飯、挽肉ときのこのカレー、あんかけ焼きそば、クリームパン、チョコクロワッサン、やみつきチキン、ゆで豚、エビカツ、白身魚のグラタン、ジャーマンポテト、コールスローサラダ、りんごババロア、黒ごまおやき、いちごアイス風デザート、お茶

##### ウ. お弁当献立

・実施日 ①10月19日

##### エ. 誕生会

・誕生月の利用者様から料理の希望を聞き、一番希望の多かった料理を毎月の誕生会に提供した。

##### オ. イベント食

◎開設記念日

・開設記念日に寿司、焼き鳥、飲み物などの献立で昼食を楽しんでもらった。

◎パンの選べるトッピング

- ・用意した8種類のジャム、ペーストの中から1人4品を選び、パンに塗って食べていただいた。希望された方には、当日に限り1回だけパンのおかわりをしていただいた。
- ・実施日 6月8日
- ・献立 食パン、選べるトッピング（粒あん、自家製カスタードクリーム、果肉入りいちごジャム、アボカドクリームチーズ、明太子入りホワイトソース、マーガリン、たまごサラダ）、チキンナゲット、フライドポテト、ヨーグルトドリンク

◎夏祭り

- ・夏祭りには、焼きそば、お好み焼き、フランクフルト、カキ氷など出店風の献立で昼食を楽しんでもらった。

◎あけぼのオータムフェスト

- ・『北海道・札幌の食』をテーマとした秋の味覚の祭典オータムフェストにちなみ、普段なかなか口にすることのない道内各地の旬の食材や、ご当地グルメを味わってもらった。料理や、食材の紹介はもちろん、その土地の概要、名産や特産、出身有名人などについても写真付きで紹介した。
- ・実施日 ①9月13日 ②9月14日
- ・献立 ①カレーうどん・つけ麺（美瑛）、イカ入りサラダ、メロン  
②てっくい井（上ノ国町）、ほうれん草おひたし、いちごプリン

カ. クリスマス会食、年越し会食、おせち料理

◎クリスマス会食

- ・クリスマス会食では、ケチャップライス、ローストチキン、グラタンやテリーヌ、海老フライ、サーモンマリネなどクリスマスらしい内容でのオードブルやケーキを楽しんでもらった。

◎年越し会食

- ・12月30日の年越し会食では、お弁当箱を用いて、えびと银杏のおこわ、ザンギ、海老、旨煮、数の子、金平牛蒡、昆布巻き、栗きんとん、練り切りなど正月らしい料理を楽しんでもらった。
- ・大晦日の夕食では、親子丼と年越しそばを楽しんでもらった。

◎おせち料理

- ・元旦には朝食に伊達巻や黒豆などおせち五点盛り、昼食にはお赤飯や茶わん蒸し、夕食に刺身盛り合わせを楽しんでもらった。

キ. 季節食

- ・季節に合わせ、日本の文化に触れる行事食を提供した。  
餅つき（雑煮） 冬至（冬至南瓜）  
七草（七草粥） 節分（いなりとりのり巻き） ひな祭り（ちらし寿司、甘酒）

ク. 祝日食

- ・祝日には、季節や家庭の温かみを感じてもらうため行事食を提供した。

昭和の日（ちらし寿司）	憲法記念日（赤飯、刺身）	みどりの日（筍ごはん）
子供の日（鮭ちらし寿司）	海の日（いなり・のり巻き）	山の日（鶏めし）
敬老の日（赤飯、刺身）	秋分の日（三色おはぎ）	スポーツの日（栗御飯）
文化の日（炊き込み御飯）	勤労感謝の日（鮭ちらし寿司）	成人の日（山菜おこわ）
建国記念の日（ひじき御飯）	天皇誕生日（鉄火丼）	春分の日（三色おはぎ）

### ③ 利用者様の意見反映

- ・給食会議において、居室ごとに取りまとめた食事に対する意見、要望を利用者様の代表から聞き、給食に反映させた。
- ・嗜好調査の実施  
調査時期 令和4年12月  
調査対象 利用者様 68名

### ④ 嗜好品の支給形態

- ・個々の身体状況、嚥食能力によりおやつの内容を2本化し、嚥下困難な方にも安心して食べていただけるよう努めた。(原則毎週木曜日支給)

### ⑤ 利用者様個々の状態に応じた自助食器、自助具の提供

- ・個々の状態に合わせ、自助食器・自助具を提供した。
- ・自助食器・自助具を使用することで、安定した栄養摂取量の確保と自力摂取をサポートした。

## 4. 非常時の対応

### ① 非常食の備蓄

- ・災害時に備え、3日分の非常食を備蓄した。
- ・備蓄品 御飯、スープ缶、フルーツ缶、飲料水、補助食など90名×3日  
※飲料水においては実際の災害に備え、1日1人あたり2リットル程度の備蓄量を目指し段階的に増加した。

### ② マニュアルの活用

- ・万が一の災害発生時に、対応マニュアルに沿い、適切かつ迅速な対応を行えるよう内容を更新した。

## 5. 食品衛生と調理従事者の衛生管理の徹底

- ・調理室内の除菌（1日2回 8：45、15：00に実施）
- ・調理室内の温度測定（1日2回 5：45、18：00に実施）
- ・冷蔵、冷凍庫の温度測定（1日2回 5：45、18：00に実施）
- ・水質検査の実施（1日2回 5：45、18：00に実施）
- ・原材料及び調理済み食品の検査用保存食の保存（2週間分）
- ・加熱調理済み食品の中心温度測定（加熱調理済み食品全てを測定）
- ・栄養士及び調理従事者の検便検査（月1回実施）
- ・調理従事者の個人衛生管理表による健康・衛生チェック（1日1回出勤時に実施）

## 6. 給食単価と平均栄養所要量

### ① 給食単価

下記単価により給食を提供した。

給食費	1人1日	964円
-----	------	------

### ② 平均栄養所要量

別紙「給食状況調」による基準により給食を提供した。

## 給食状況調

	kcal	g	g	mg	mg	ビタミン				1人1日当たり 平均金額	食数
	エネルギー	蛋白質	脂質	カルシウム	鉄	A( $\mu$ g)	B1(mg)	B2(mg)	C(mg)		
令和4年4月	1,789	72.1	49.3	700	9.3	848	1.26	1.52	124	919	2,395
令和4年5月	1,793	71.8	50.1	750	10.4	784	1.21	1.43	118	1,002	2,509
令和4年6月	1,788	71.6	47.7	728	9.3	771	1.19	1.38	117	918	2,375
令和4年7月	1,789	71.4	49.6	743	8.9	811	1.21	1.46	120	864	2,379
令和4年8月	1,787	72.5	48.8	708	9.2	791	1.20	1.41	124	928	2,321
令和4年9月	1,770	66.2	43.7	653	8.5	655	1.04	1.28	75	1,149	2,306
令和4年10月	1,793	68.6	47.7	679	8.6	772	1.17	1.43	96	1,056	2,357
令和4年11月	1,793	70.8	49.2	748	9.9	809	1.21	1.46	124	938	2,242
令和4年12月	1,806	71.8	49.3	728	9.5	853	1.20	1.45	121	1,002	2,352
令和5年1月	1,804	72.7	51.5	708	9.3	812	1.20	1.50	119	964	2,240
令和5年2月	1,791	72.0	51.9	732	9.4	827	1.22	1.49	117	918	2,024
令和5年3月	1,819	72.1	51.2	714	9.0	820	1.25	1.48	125	920	2,299
合計	21,522	853.6	590.0	8,591	111.3	9,553	14.4	17.3	1,380	11,578	27,799
月平均 1人1日当たり	1,794	71.13	49.17	716	9.3	796	1.20	1.44	115	964	2,317



## IV. 施設の安定的な経営と機能強化

### 1. 安定的経営に向けた取り組み

安定的な施設経営のために、最大の収入財源である利用人員の充足を目指した。しかしながら今年度においても十分な人員確保には至らず、状況を改善することが出来なかった。

#### ① 定員の充足

- ・継続的な利用者様の確保（年間平均在籍人員実績80.3名、月別人員は別表1を参照）
- ・居室環境改善に係る協議を札幌市と継続的に行った。
- ・一時見守り支援事業を活用し施設近隣のアパートにて12名の受け入れを行った。

#### ② 救護施設の周知活動

- ・コロナの感染状況を考慮した上で、札幌市内病院相談窓口等へのPR活動を行った。

### 2. 運営体制の適正化

#### ① マニュアル等の整備

- ・BCPの策定にむけ、複数回の検討を行ったが、完成には至らず次年度に課題を残した。

#### ② 記録業務の効率化・情報共有

- ・生活支援記録システムを活用し、医務的な日誌やヒヤリハット委員会の会議録作成など更なる活用の拡張を図った。

#### ③ 利用者在籍数の変化に合わせ、適切な職員配置と体制再構築

- ・支援員のチーム平成の再構築（男子・女子担当の統合）を行い、主任を中心とした新たな体制づくりに着手した。

#### ④ 定例会議・各種委員会活動の実施

- ・職員会議・給食会議・支援会議の開催：月1回
- ・苦情解決委員会：苦情等意見書6件
- ・ヒヤリハット委員会の開催：月1回

ヒヤリハット報告

《年間分類別事象数》

投 薬	転 倒 ・ 転 落	食 事 ・ 誤 嚥	無 断 外 出	設 備	防 災	外 出 先	外 部	忘 れ	勘 違 い	そ の 他	合 計
54	48	7	3							70	182

- ・人権擁護委員会の開催：感染防止の観点から縮小し、年3回の開催とした。
- ・感染症対策委員会の開催：コロナクラスター発生時には、時々刻々と変化する事象に対し、都度関係職員にて相談し対処した。更に、クラスター収束後には、新たな感染予防とインフルエンザ流行に備え、職員に予防に関する啓もうを行った。

### 3. 職員の専門性の向上

#### ① 職員体制と専門性の強化

- ・加算制度の利用：救護施設職員配置基準に基づく適正な職員配置に加え、加算制度を利用した職員配置を行った。

（介護職員1名、看護師1名）

- ・外部団体研修会への参加：コロナ感染防止の観点から中止となった研修会も多いが、一部実施された対面式、及びZOOM、動画配信による各種研修会へ参加した。

#### ・施設内研修の実施

外部講師を招へいし、「アンガーマネジメント」に関する研修を行った。（参加者：15名）

#### 4. 苦情解決に向けた取り組み

- ・苦情受付件数 6件～利用者間の関係性、居宅訓練プログラム及び職員に対する不満について

#### 5. 地域との連携

- ・施設行事への参加呼びかけ（感染防止の観点から施設行事への外部の方への呼びかけを中止した）
- ・会議室の開放（感染防止の観点から開放を中止した）
- ・福祉除雪事業への参加（当施設出動実績：4回）

#### 6. 広報活動の充実と情報公開の取り組み

##### ① 広報活動の充実

- ・新規利用に結びつきやすくなるよう、ホームページを一部見直しする予定であったが、次年度に持ち越した。
- ・広報誌「みちしば」の発行
- ・発行部数 110部
- ・配布先 ご家族・関係機関
- ・発行内容

号 数	発行日	発 行 内 容
160号	4月15日	クリスマス会、感染予防対策、居宅生活訓練事業等
161号	10月15日	開設記念 夏祭り、よかさろんのその後、コロナ施設内感染等

##### ② 情報公開

- ・ホームページにおいて施設概要、事業報告書及び決算収支状況を開示した。
- ・定期的に更新し日常生活のようす等をお伝えした。

## V. 施設の安全管理と環境整備

### 1. 施設の防災管理

日頃より施設周辺の可燃物の整理整頓等防火活動に努めた。

- ・消防法に基づく総合訓練の実施

実施月日	想定	訓練内容	参加者
5月26日	夜間	総合訓練（消火訓練・避難訓練）	3名
10月26日	夜間	部分訓練（消火訓練・避難訓練）	3名

- ・避難訓練に参加した職員を対象として、消防設備の使用法やスプリンクラー設備について研修を実施した。
- ・緊急時の職員連絡体制をより定着させるため、「らくらく連絡網」を活用した業務連絡を行った。

### 2. 施設設備の修繕・保守・点検

各種機器の維持管理及び、経年による建物の劣化による修繕を実施した。

今年度においては経年劣化による自家発電設備の蓄電池の交換や、食堂床の一部張替修繕等を行った。設備の定例保守は以下のとおり行った。

- ・消防用設備の点検（年2回～専門業者／自主点検：毎月）
- ・自家用電気工作物（キュービクル）の点検（毎月～専門業者）
- ・エレベータの保守点検（毎月～専門業者）
- ・温水ボイラーの保守点検（4月・11月～専門業者）
- ・受水槽・貯湯槽の清掃保守及び水質検査（2月～専門業者）
- ・機械警備の保守点検（毎月～専門業者）
- ・浴槽配管洗浄（8月～専門業者）

### 3. 施設内の清掃・美化

居住環境の清潔保持と施設内感染の予防に努めた。

- ・館内床美装（食堂：年2回その他廊下等：年2回）
- ・布団丸洗い及び乾燥殺菌（丸洗い4月、10月）
- ・シーツ・ホーフの交換（月2回）
- ・居室内カーペット部分（汚損箇所）貼り替え（年1回）
- ・月例清掃（毎月～職員と利用者の協働清掃）
- ・館内除菌（新型コロナ、インフルエンザ、ノロウイルス対策）の実施（毎日2回～職員が実施）

<別表 1>

入所状況 (令和5年3月31日現在)

入退所状況調

(人)

月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	平均
月初措置人員数	82 (2)	81 0	82 (2)	80 (2)	80 (1)	78 (1)	79 (3)	80 (3)	80 (2)	79 (4)	76 (3)	78 (1)	79.6
自由契約者数	0	0	0	1	1	1	2	1	1	1	1	1	
合計	82	81	82	81	81	79	81	81	81	80	77	79	80.4

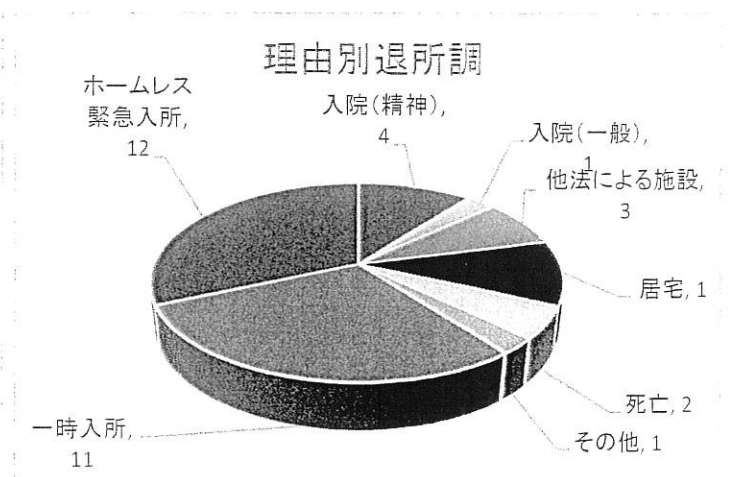
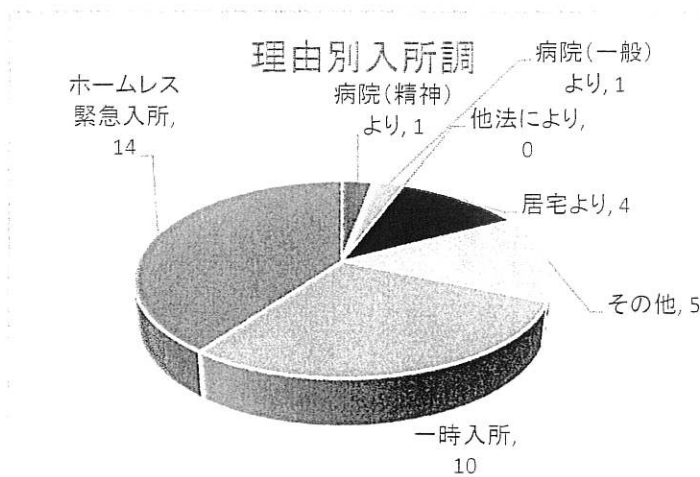
※( )はホームレス緊急入所による措置人員数を再掲

(人)

月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計	
入所	病院(精神)より						1						1	
	病院(一般)より								1				1	
	他法により													
	居宅より	1									1		2	
	その他			1		2		1					1	5
	一時入所(一般入所前の体験的入所は除く)		1		3		1		1			3	1	10
	ホームレス緊急入所		2		1	2	3		1	2	1	1	1	14
合計	1	3	1	4	4	5	1	3	2	2	4	5	35	

(人)

月	R4.4	5	6	7	8	9	10	11	12	R5.1	2	3	合計	
退所	入院(精神)						2				2		4	
	入院(一般)								1				1	
	他法による施設			2						1			3	
	居宅	1	1							1		1	4	
	死亡										2		2	
	その他		1										1	
	一時入所(一般入所前の体験的入所は除く)				2	4		1		1			3	11
	ホームレス緊急入所	1			2	2	1		2		1	3		12
合計	2	2	2	4	6	3	1	3	3	5	3	4	38	



年齢別調

(人)

年齢	20~29	30~39	40~49	50~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80以上	合計
男	1	1	1	7	5	6	5	6	6	38
女			1	3	5	8	8	5	9	39
計	1	1	2	10	10	14	13	11	15	77

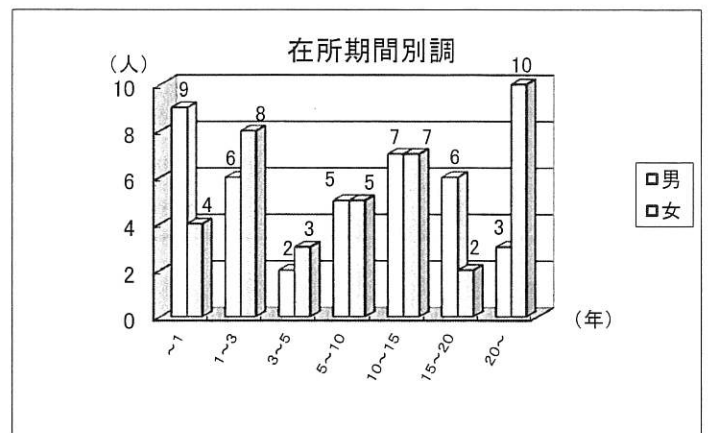
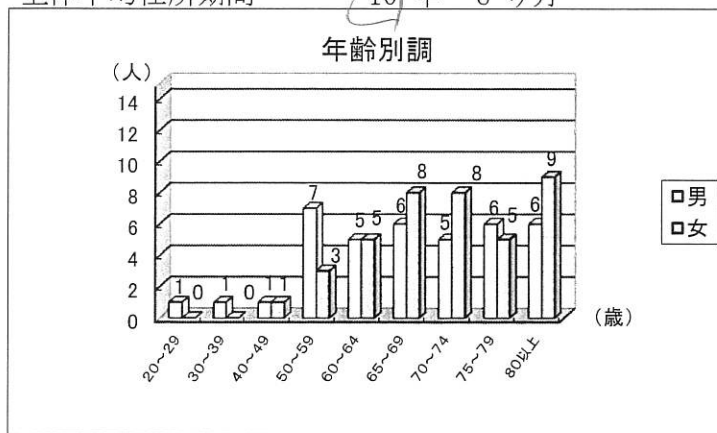
最少年齢 男子 24歳 最高年齢 男子 85歳 平均年齢 男子 66.7歳  
 女子 47歳 女子 89歳 女子 71.3歳  
 全体平均年齢 68.9歳

在所期間別調

(人)

	1年未満	1年以上 3年未満	3年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上	合計
男	9	6	2	5	7	6	3	38
女	4	8	3	5	7	2	10	39
計	13	14	5	10	14	8	13	77

最短期間 男子 0年 0ヶ月 最長期間 男子 31年 11ヶ月  
 女子 0年 1ヶ月 女子 35年 8ヶ月  
 平均在所期間 男子 8年 9ヶ月  
 女子 12年 3ヶ月  
 全体平均在所期間 10年 6ヶ月

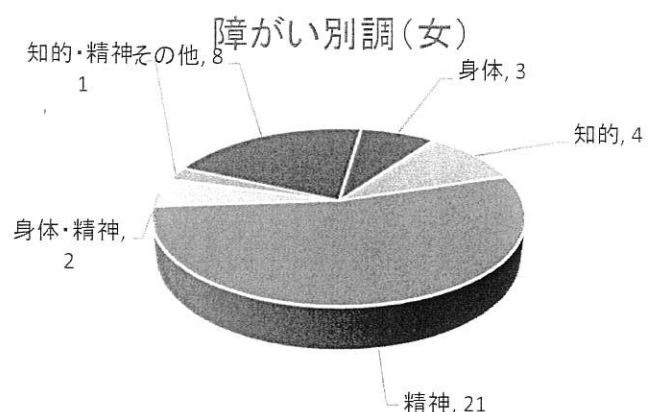
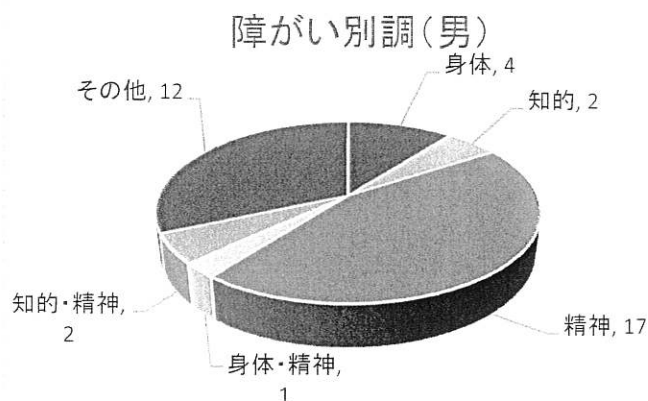


障がい別調

※判断は手帳の所持による

(人)

	身体	知的	精神	身体・知的	身体・精神	知的・精神	身体・知的・精神	その他	合計
男	4	2	17	0	1	2	0	12	38
女	3	4	21	0	2	1	0	8	39
計	7	6	38	0	3	3	0	20	77



障害者手帳保持調

(人)

身体障害者手帳	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	合 計
男	1		1	2			4
女		1		1	1		3
計	1	1	1	3	1		7

精神障害者保健福祉手帳	1 級	2 級	3 級	合 計
男		15	2	17
女	1	18	2	21
計	2	33	4	47

療 育 手 帳	A	B	B-	合 計
男		2		2
女	2	2		4
計	2	4		6

ADL状況調

(人)

区 分	歩 行			食 事			排 泄			入 浴			着 衣			
	自 力 歩 行	補 助 具 使 用	車 椅 子 使 用	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 介 助	自 分 で 可 能	一 部 介 助	全 介 助	
実数	60	10	6	1	47	29	1	57	14	6	47	20	10	64	10	3

受給年金調

(人)

	国民年金				厚生年金			障 基 老 厚	そ の 他	合 計
	障 害 基 礎	老 齢 基 礎	障 害 (旧法)	老 齢 (旧法)	障 害	老 齢	遺 族			
男	9	1				9		1	6	26
女	13	4	1		1	5	2		3	29
計	22	5	1		1	14	2	1	9	55

実施機関別入所人員調

(人)

各 市 別 人 員				各 振 興 局 別 人 員			
実 施 機 関 名	男	女	計	実 施 機 関 名	男	女	計
札 幌 市	22	28	50	空 知 総 合 振 興 局	2	1	3
名 寄 市		1	1	根 室 振 興 局	1		1
北 見 市	4		4	オホーツク総合振興局	2		2
三 笠 市	3	4	7	十勝総合振興局	1	1	2
根 室 市		1	1				
北 広 島 市		1	1				
岩 見 沢 市	1	1	2				
砂 川 市	1		1				
登 別 市		1	1				
苫 小 牧 市		1	1	私 的 契 約	1		1
石 狩 市	1		1				
小 計	32	38	70	小 計	7	2	9
				合 計	39	40	79

<別表2>

職員配置状況

令和4年4月1日現在

職 種	施 設 長	事 務 員	主 任 指 導 員	指 導 員	介 護 職 員	介 助 員	看 護 師	栄 養 士	調 理 員 等	(ほ 巡 視 員 等 か)	医 師	合 計
定 数	1	2	1		15	1	1	1	4(1)		(1)	26(2)
現 在 員	正規職員	1	2	1		14	1	2	1	4		26
	契約職員					4				4	6	14
	嘱 託										2	2